

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人 埼玉福祉事業協会

# 令和元年度 事業報告

## 1. 会是・基本理念の実践

法人の願いであった、障がいの重い人が利用できる入所施設を主軸とした「ゆずり葉」の事業開始ならびに円滑な運営に重きを置いた年度となりました。前年度の準備だけでは過不足が生じる中、新規ご利用者の皆さまやご家族、そして職員や関係者の知恵と努力、ご支援、ご協力により、滞りなく事業を進めることができました。

特に、福祉人材が不足する中、多くの職員採用が必要とされた前年度は人材確保に多大な苦勞がありました。採用された職員を含め、既存職員の尽力と皆様の助力により、適正な人員配置と一定の支援サービスを確保することができました。

法人の会是・基本理念を実現していくための新規事業であることの周知を図り、従来の事業に支障が生じないように、様々な対応を推し進めました。

効率の良い運営管理や契約に基づく生活支援サービスの向上のために、職員が前向きに誠心誠意、それぞれの持ち場を守り実践を行いました。

さらに、大きくなった事務会計処理を適正に行い、効率的かつ効果的な経費執行となるよう、運営管理に関する工夫や体制整備を心がけました。

インターネットの活用や地域行事への参加、広報紙の発行などを通じて、法人および施設に関するさまざまな広報活動を継続して行い、福祉や障害の理解が深まるよう活動しました。

- (1) 法律およびこれに基づく命令（告示・通知を含む）、ならびに法人の定款・諸規程等を遵守するとともに、社会規範を尊重する事業展開をしました。
- (2) ご利用者の人権を尊重し、ご利用者一人ひとりの個性を大事にして、豊かで充実した生活を送ることができるよう、個別支援計画に基づいたサービスを実行しました。
- (3) ご利用者に「そこで住みたい。そこに通いたい。」と選ばれる施設、ご利用者主体の施設づくりを目指し、サービスの質の向上を図りました。集団生活や職員の都合を優先した支援を行わず、ご利用者主体の個別化された支援を提供するように心がけました。
- (4) ご利用者が地域社会の構成員であることを尊重し、重度障害のある人への生産活動の充実を図り、生産製品の販路拡大と工賃増強に取り組みました。  
また、障害のある人の経済的な自立を支援するために、職業準備支援を行いました。
- (5) ご利用者の生活の快適さを追求するとともに、ご利用者の健康を維持・向上することを目的に、生活・作業の場面を問わず、衛生的な生活環境を整備するために、整理整頓・清潔保持に気を配りました。  
また、施設備品や消耗品等を大切かつ効率的に使用し、水道光熱や営繕に係る経費の無駄を省き、限られた財源を真のご利用者支援に必要な費用に活用しました。

- (6) 法による規定だけでなく、各種手当の拡充など、職員の待遇改善に努め、働きやすい職場を目指しました。また、老若男女を問わず職員の積極的な採用活動も行いました。職員管理においては、体調管理に十分気を付けて、勤務を遂行するよう指導しました。

## 2. 事業内容

大規模な新規事業の展開はありましたが、従来事業の益々の発展に努力しました。ご利用者の活動要求に応えるべく、法人として多機能的な事業展開をすることで、ご利用者の自立と工賃向上の強化を図り、ご利用者それぞれの個性や役割が発揮できるように支援しました。

### (1) 新規事業「ゆずり葉」の開設

#### ① 施設入所支援 定員 50 名 平成 31 年 4 月 1 日事業開始

さいたま市との協議や現状調査、自宅等の居住地での面接、法人内入所利用者検討会等を通じて決定されたご利用者が、4月中に期日をずらす傾斜方式で利用開始となりました。

新任職員も多く、ご利用者の新生活がより早く定着できるよう支援しました。

#### ② 宿泊型自立訓練 定員 20 名 平成 31 年 4 月 1 日事業開始

日中、一般就労や外部の障害福祉サービス、同一敷地内の日中活動サービスを利用している人等を対象として、埼玉県では初めてとなる宿泊型自立訓練事業を開始しました。この事業では、自立生活を目指す障害者のステップアップのための施設として、一定期間、夜間の居住の場を提供し、生活能力等の維持・向上に向けた支援を行い、積極的な地域移行の促進を図りました。

#### ③ 短期入所 定員 10 名 平成 31 年 4 月 1 日事業開始

居宅において介護を行う人（障害者の家族等）が疾病やその他の理由により、障害者（児）の介護が困難となった際に、短期間入所してもらい、入浴・排泄・食事の介護、その他の支援を提供しました。児童から成人といった年齢、知的・身体・精神といった障害種別を問わず、幅広いサービスを提供していますが、周知不足はありました。

#### ④ 生活介護 定員 60 名 平成 31 年 4 月 1 日事業開始

常時介護を要する障害者の方に、入浴・排泄・食事・更衣等の介護やその他の必要な日常生活上の支援、相談対応と助言、健康管理を提供しました。創作活動または生産活動の機会として、リサイクル活動やクリーニング活動、その他を提供しました。

女子美術大学の協力による製品の開発や販売の取り組みも実施しました。

#### ⑤ 就労継続支援 A 型 定員 10 名 平成 31 年 4 月 1 日事業開始

一般企業等への就職が困難な方に対して、雇用契約を結び、地域で定められた最低賃金以上の賃金を支払うことを原則として、就労の機会や生産活動、その他の活動の機会を提供し、その知識および能力向上のために必要な訓練や支

援を提供しました。就労活動としては、パンの製造、調理・弁当の製造等を提供しました。

**⑥ 就労継続支援 B 型 定員 30 名 平成 31 年 4 月 1 日事業開始**

生産活動やその他の活動の機会の提供および訓練を通じ、就労に必要な知識や能力の維持・向上を図ること、障害のある人の地域生活を支えることを目的として、パンの製造、調理・弁当の製造等を提供しました。

**⑦ 一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）平成 31 年 4 月 1 日事業開始**

地域移行支援では、さまざまな障害者支援施設や病院等からの退所・退院後の地域移行に向けた支援を行います。地域定着支援では、一人暮らしや地域生活が不安定な人等に対し、地域生活を継続していくための支援を行います。

一般相談支援事業により、障害のある人の地域生活が持続可能となる体制を整備します。また、グループホームや一人暮らし等による地域生活を支えていくことを目指していますが、周知活動等が不十分でした。

**(2) 杉の子学園**

**① 施設入所支援 定員 50 名**

夜間および休日に、入浴・排泄・食事・更衣等の介護、その他の支援を実施しました。ご利用者の状況を毎日把握することにより、支援員間でその情報を共有し、ご利用者生活をサポートしました。ご利用者の個々のニーズを把握し、季節の行事（運動会やクリスマス会）、親睦旅行、外出支援、地域の行事への参加等、個別支援計画に基づいたサービスの提供を実施しました。

健康管理では、日常のご利用者の状態把握に努めるとともに、疾病が進行しないよう、早期発見・早期治療の徹底を図りました。医師の指示に基づき、看護師が医療的なケアを提供しました。

**② 短期入所（併設型） 定員 7 名（空床型）**

居宅において介護を行う人（障害者の家族等）が疾病やその他の理由により、障害者（児）の介護が困難となった際に、短期間入所してもらい、入浴・排泄・食事の介護、その他の支援を提供しました。児童から成人といった年齢、知的・身体・精神といった障害種別を問わず、幅広いサービスを提供しました。

また、緊急一時保護の目的を果たすだけでなく、ご利用者の希望や特性に応じて生産活動や余暇活動への参加を図りました。

**③ 生活介護 定員 80 名**

ア) 昼間、常時介護を必要とする方に入浴・排泄・食事・更衣等の介護、創作活動または生産活動の機会を提供しました。

イ) 生産活動として、「レンタルおしぼりの製作」「農作物の生産」「手すき和紙製品の製作」「石鹼や古紙再生植木鉢等のリサイクル製品の製作」「ピアショップ等の商品販売・杉の子マートの接客業務」を提供し、ご利用者の障害特性を踏まえた工夫をもって、全員参加の支援を提供できるよう努めました。

- ウ) ご利用者の働く場の拡大と地域貢献を位置付けた「杉の子マート」事業も、順調な経営が続き、自家製品である『あかしあの森のパン』はもちろんのこと、農作物の需要も高く、法人内の生産製品の販売に大きな貢献を果たしました。
- エ) 埼玉県立精神医療センター「あかしあの森のレストラン」は、ご利用者の接客作業のスマールステップとして、安定した仕事の場の提供となりました。
- オ) 杉の子学園の従たる生活介護事業所「すこやか倶楽部」は、異業種連携による健康増進施設として、障害のある人の新たな働く場所を創造する活動を積み重ねました。地域のニーズに応えられる“インクルーシブ活動の場”としても取り組みました。成果や効果に値する実績はまだ出ていませんが、安定した支援サービスが蓄積されつつあります。

#### ④ 日中一時支援（知的・身体・精神・児童） 定員 20 名

介護者の就労の支援や一時的な休息を目的とし、障害のある人の日中における活動の場として、積極的にご利用者の受け入れを行いました。入所施設に併設しているメリットを生かし、週末や放課後のほか、早朝・夜間の受け入れと送迎サービスを実施し、地域の福祉ニーズに貢献できるよう努めました。

### (3) あかしあの森

#### ① 就労移行支援 定員 6 名

一般企業等への就労を希望する方に対して、定められた期間に渡って生産活動等の機会を提供し、就労に必要な知識および能力向上のために必要な訓練、その他の支援を行いました。

#### ② 就労継続支援 A 型 定員 10 名

障害のある人の経済的自立を支援するために、就労を希望する方と雇用契約を結び、高度な作業工程の習得を目標とし、就労の喜びを得られるよう援助を行いました。生産活動として、「パンの製造」「焼き菓子の製造」の機会を提供し、埼玉県の最低工賃を保障し、ご利用者が自立した生活を送れるよう支援しました。

#### ③ 就労継続支援 B 型 定員 34 名

一般企業等に雇用されることが困難な方に対して、就労の機会や生産活動、その他の活動の機会を提供し、その知識および能力向上のために必要な訓練、その他の支援を行いました。

就労支援プログラムとして「パンの製造」「焼き菓子の製造」「レンタルおしぼりの製作」「花卉栽培」などの生産活動の提供のほか、飲食店への就労を希望する方に対して、大宮花の丘農林公苑内にある「花の食品館レストラン」で調理の補助や食器洗浄等、厨房業務を身に付けるとともに、人間関係や接客マナー等の社会性を学ぶ場の提供も行いました。また、施設への公共交通機関の利便性が低いことから、通勤手段として送迎サービスも行いました。

#### ④ 生活介護 定員 10 名

主に、昼間、常時介護を必要とする方に入浴・排泄・食事・更衣等の介護、創作活動や生産活動の機会を提供しました。

生産活動として、「レンタルおしぼりの製作」「花卉栽培」の作業を提供し、ご利用者の障害特性を踏まえた工夫をもって全員参加の支援を提供できるよう努めました。

#### ⑤ 短期入所（単独型） 定員 19 名

居宅において介護を行う人（障害者の家族等）が疾病やその他の理由により、障害者（児）の介護が困難となった際に、短期間入所してもらい、入浴・排泄・食事の介護、その他の支援を提供しました。

### （4）プリムローズ

#### ① 共同生活援助 定員 9 名

ア) 共同生活を営む住居で、入浴・排泄・食事の介護、その他の援助を行いました。社会的自立支援と地域生活の充実、安定した就労活動を継続できるよう、きめ細やかな生活支援サービスを提供しました。

ご利用者主体のライフワークバランスを確立するため、休日の余暇活動支援を個々のニーズに合わせて実施しました。

イ) 共同生活住居「グリーンパーク」では、共同生活援助事業（グループホーム）の本体住居である「プリムローズ」と一体的に運営する共同生活住居として、定員 2 名で開設し、運営しました。

#### ② 短期入所（併設型） 定員 4 名

入浴・排泄・食事の介護、その他の支援を行い、ご利用者が他者と共同生活を送れる支援しました。短期入所といっても、ほとんどのご利用者が障害や家庭・社会的な事情によって長期利用となり、常に満床の状態が続きました。平日の昼間は、地域の作業所へ通勤できるよう支援し、夜間等の余暇時間は、自立支援のためのさまざまな支援を行いました。

### （5）さいたま西部生活支援センター

#### ① 居宅介護（身体および家事援助）・重度訪問介護・同行援護・行動援護・移動支援

ご利用者の地域生活の充実を図るため、在宅における介護サービス、公共交通機関や公共施設等の利用支援、遊びや運動を通じた発達やコミュニケーション支援の実施に努めました。サービスの利用希望が土曜・日曜に集中してしまうため、法人内の機能の調整を行い、多くのニーズに応えることができました。

#### ② 特定相談支援・障害児相談支援・一般相談支援

ア) 当センターには、障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律に基づく「特定相談支援事業」と児童福祉法に基づく「障害児相談支援

事業」の事業所があり、ご利用者の皆様に安心して福祉サービスをご利用いただくための相談支援を行いました。個々のニーズに沿ったサービスの提供を図るために「サービス等利用計画」を作成しました。

イ) 計画相談支援では、サービス等利用計画の作成、支援計画書の作成を行いました。計画作成後においても、ご利用者およびその家族、福祉サービス事業者等との連絡を継続的に行い、サービス提供が円滑に実施されているかを確認するため、モニタリング期間毎にご利用者の居宅等を訪問し、その結果を記録するとともに、必要に応じてサービスの変更や調整を行いました。

ウ) 基本相談支援として、定期的なモニタリング等以外においても巡回時や電話でご利用者からの相談に対応しました。地域生活の困りごとや現在利用している福祉サービス内の人間関係、家族との関係、病気のこと等、幅広い相談を随時受け付け、その都度、適切な助言を行ったり、関係機関を招集して会議を開催したり、解決に向けた調整やサービスの変更等を行いました。

エ) さいたま市西区障害支援課が主催する「特定相談支援事業所連絡会議」に参加し、同課からの行政説明や国・県市の動向の報告、各事業所の状況、その他の情報交換を行いました。また、区内の社会資源の確認として施設見学も実施しました。

## (6) 浦和ふれあい館喫茶ルーム「あかしあの森」

高齢者・障害者共生事業（活動応援プラン）である浦和ふれあい館喫茶ルーム「あかしあの森」の運営は、タイアップ先である公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの理解・協力の下、順調に推移しました。

この事業では、あかしあの森で製造したパン・焼き菓子、杉の子学園で育てた新鮮野菜、手すき和紙の製品、古紙再生植木鉢、リサイクル石鹸等の生産製品をシルバー人材センター会員の皆様が販売・接客していただくもので、高齢者・障害者共生事業として高く評価されました。

## (7) 地域における公益的な取り組み

### ① 生活困窮者に対する相談支援事業（彩の国あんしんセーフティネット事業）

生活困窮者に対する相談支援事業は、制度の狭間の問題や生活困窮等の新たな福祉課題に対して、柔軟に対応し、社会福祉施設が地域のセーフティネットの役割を担うのが目的です。具体的には地域の生計困難者からの身近な相談機関となり、市町村社会福祉協議会と協働して経済的援助を含めた即応性のある対応とともに継続的な支援を行うものとして取り組みました。

また、生活困窮等の新たな福祉課題に対応するために、埼玉県内の社会福祉法人が協働して、利用可能な制度の紹介や支援機関への橋渡しを行うとともに、相談者がひっ迫した状況にある場合には経済的援助（現物給付）を行い、生活困窮者の自立を支援しました。

## ② 個別運動指導

地域にお住まいの高齢者のフレイル予防（※）に寄与し、地域との繋がりを強化することを目的とした運動の機会を無料で提供しました。

※人は年を取ると段々と身体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要となってきます。このように心と身体の働きが弱くなってきた状態を、フレイル（虚弱）と呼びます。

## 3. 生産活動の提供

### （1）杉の子学園 おしぼり製作

長年実施しているレンタルおしぼりの製作では、回収後のおしぼりのゴミ取り、洗濯、重ね・はぶき、製作機（包装機）、検品、袋詰め等各作業を行いました。

制作に携わる職員の爪、髪、髭などの衛生面の徹底およびご利用者の衛生面の支援、不良品を出さないことを徹底するための支援、工程管理などでのご利用者参加や対応など自立支援のための支援を行いました。長期連休中の多量のおしぼり製作時には、「あかしあのみおしぼり班」と連携を取って対応するなど、ご利用者の参加と支援員のシフトの工夫などにより、取引先との関係向上を図りながら、製作量向上にも努めました。

また、作業室内の衛生環境（清掃、作業衣の清潔維持、身嗜み）についての支援も常時行いました。

### （2）杉の子学園 農耕

ご利用者と共に、施肥、播種、育苗、定植、生育管理（灌水、除草、病虫害防除）、野菜の収穫、運搬、袋詰め、圃場内環境整備（草刈り、用水路清掃）を行いました。

除草作業等のメンテナンスを極力減らすために、早めの対応を行いました。

ご利用者の熱中症を予防するために、作業内容と時間配分を工夫しました。

小松菜、ホウレン草、水菜、春菊、紅葉苔、レタス、エンドウ、ソラマメ、エダマメ、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、葉ネギ、トマト、ミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、ズッキーニ、オクラ、トウモロコシ、サトイモ、大根、カブ、きゃべつ、白菜等々の栽培をしました。

### （3）杉の子学園 紙漉き

手漉き和紙製品（ぼち袋、熨斗袋、祝い膳、扇子、名刺等）の製作作業を行いました。裁断した牛乳パックを煮込み、パックの表面についているフィルムを剥がし、フィルムを剥がした紙の千切り、千切った紙の乾燥、ミキサーを用いて千切った紙と水を混ぜ合わせる、紙漉きを行い、漉いた紙の乾燥という一連の過程をご利用者と分担しながら実施しました。ご利用者一人ひとりの支援方法を工夫し、在庫管理を行うことなどの対応をしました。



#### (4) 杉の子学園 館内作業 (リサイクル石鹼・彩生ポット・館内美化)

リサイクル石鹼、液体石鹼の製作は、廃油の異物除去作業、苛性ソーダを加えて攪拌し型に流す作業、石鹼の成型および包装作業、固形石鹼を成型する際に出る石鹼の削り粉を容器に入れ、お湯を足して箸で攪拌しながら溶かして液体石鹼を作る作業棟に分かれており、それぞれ得意なご利用者が継続的に行いました。

また、彩生ポット (古紙再生植木鉢) 製作作業では、新聞紙、コピー用紙の千切り作業、かき混ぜた材料と水と染料を混ぜあわせて脱水機に掛ける作業、脱水した材料の粉碎作業、成型機を用いた成型作業、成型した彩生ポットの型抜きおよび乾燥作業、品質管理、ヤスリ掛け、ラベル貼りの実施などを行いました。

さらに、館内美化としての清掃作業も行いました。

#### (5) 杉の子学園 販売・杉の子マート・あかしあの森のレストラン・すこやか倶楽部

月曜日から金曜日まで、さいたま市内の区役所 (西区・桜区・中央区・浦和区・大宮区・南区) のピアショップ販売参加や地域の販売行事に出店を行いました。パン、洋菓子、野菜、販売道具等の運搬、お客様への挨拶、呼びかけ、商品の袋詰め、受渡しなど、ご利用者の個性に応じて対応しました。

「杉の子マート」での販売業務では、バーコード読み取り、商品の袋詰め、受渡し、パン・洋菓子・野菜等の陳列および廃棄、洋菓子の箱の組み立て、箱詰め等の作業、杉の子マート周辺や駐車場、精米機の清掃なども行いました。「杉の子マート」では、授産製品の販売店舗・地域への発信拠点として、ご利用者が「販売」を通して地域の方と交流を持つことができ、自立へ向けた支援につながりました。

「あかしあの森のレストラン」では、接客サービスの希望があっても働くことが困難なご利用者を対象として、障害に対しての理解も深く、接客練習の協力を得られる場所での接客をスモールステップのひとつとして提供しました。

「すこやか倶楽部」では、接客やレジ業務、店舗の床やトレーニングマシンの拭上げ・清掃作業、タオルやウェアのたたみ作業を提供しました。ご利用者の働く場であるとともに、一般の方の健康づくりはもちろん、脳性麻痺や認知症のある方にも運動支援を行い、身体を動かす楽しさと社会との関わりを感じてもらえる場として運営しました。

#### (6) あかしあの森 おしぼり製作

爪、髪、髭などを確認して、衛生第一で作業を支援しました。ご利用者の作業の幅が広がるように、適宜役割を交代するなどの工夫をしながら支援しました。「杉の子学園おしぼり班」とも連携し、分担して対処することも順調にできました。

清掃はおしぼり室の中だけではなく、館内清掃も行い、自分たちが使う施設は自分たちで綺麗にする意識・行動を職員自らが率先し、ご利用者の模範となるよう職務に努めました。

おしぼりの生産数 (曜日ごと) の目標は、1週間で15600本としていました。

## (7) あかしあの森 農園芸

温室内で花・観葉植物・苗を育成（種まき・植え替え・鉢上げ・施肥・温室管理・水やりなど）、畑で作物の育成（植え付け・水やり・ネット張り・マルチング・農薬散布・間引き・収穫など）、果樹畑にある果樹を育成（摘果・剪定・整木・花摘み・受粉・農薬散布・袋かけ・収穫など）を行いました。さらに、花のレンタル営業（観葉植物の交換・メンテナンス作業など）も行いました。

今年度も、夏季における熱中症に十分な配慮を行いました。清掃の時間を設け、温室内を清潔に保つことを意識するとともに、時間配分を工夫して効果的に作業に取り組めるようにしました。

シクラメンの育成・販売だけでなく、新規にサンドアート（サボテンや多肉植物を寄せ植えした物）の販売や小麦の生産にも取り組みました。

## (8) あかしあの森 パン工房

パン生地を作成、生地の計量および切り分け、成型、発酵、焼成および養生、商品の袋入れの各種作業を実施し、ご利用者の作業能力向上と製パンに携わる範囲を広げる支援を繰り返し行いました。製造規模拡大を見据え、安全な製パンマニュアルの整備を図り、ご利用者の工賃向上に努めました。特に、食品製造で重要な衛生管理に関する支援や意識向上を図りました。

ご利用者の就労に向けた知識や能力の向上を意識して声掛け、見守りを行いました。

- ① 消費増税に伴い、価格を見直し、改定を行いました。
- ② ラベルシールに記載するアレルギー表示や栄養成分表の作成を行いました。
- ③ 保育園や養護老人ホーム向けのパン製造を開始しました。
- ④ 一般飲食店向けのパン製造を開始しました。

## (9) あかしあの森 菓子工房

生地や食材を計量する、計量した食材を正しい順番でタイミングよく合わせる、決められた温度・時間で焼成を行う（生地の種類や状態などによって温度・時間を変更する）、商品によって決められたサイズ・材質の袋に入れてシーラーで留める、リボンを結ぶ、シールを貼るといった作業を支援員がサポートしながら実行し、目標達成できるように努めました。ご利用者一人ひとりのスキルアップを目指し、みんなで協力して取り組むようにしました。また、衛生面に気を配り、安心・安全な商品を提供し、ご利用者の就労に向けた知識や能力の向上に努めました。

- ① 異物の混入がなく、安定した品質の良い物を毎日製造しました。
- ② 他店舗への菓子メニューの作成や製作をしました。
- ③ 特別注文に対応し、個包装等のクッキー等を製造しました。
- ④ 与野フードやポプラなど、一般店舗への販売を開始しました。
- ⑤ 通信販売（焼き菓子等）の販売を開始しました。

## (10) あかしの森 花の食品館レストラン

花の食品館レストラン（2階）での接客・調理補助・運營業務では、ホールや調理場の清掃を行う、食材準備（米とぎ・サラダ・漬物など）を行う、コーヒーメーカーを操作してホットコーヒーを準備する、注文に応じた調理補助（トレイや食器、ご飯や汁物を用意するなど）を行う、フロア業務（お冷・おしぼりの提供、配膳、下膳など）を行う、レジ業務を行う、テーブルを拭く、食器や調理器具の洗浄を行うなど、多様な業務を実施しました。また、来店客に対しての挨拶や配慮などの接客マナーも求められることから、ご利用者の個性に合わせた支援を行いました。

花の食品館（1階）での今川焼・揚げ物の作成販売、パン・洋菓子販売業務では、今川焼の材料準備、焼き上げ販売、アメリカンドッグ・たこ焼き・唐揚げ等の製造販売、パン・洋菓子等の販売を行いました。お客様来店時のマナーを重点的に、継続して声掛け支援を行いました。

さらに、1階と2階共通して、手の洗い方、マスクの着用の仕方（鼻を出さない等）、帽子のかぶり方、爪（汚れ、伸び具合）等の衛生面について、継続的に声掛けを行いました。来店されたお客様がリピーターとなっていただけるよう対応にも工夫しながら、それと同時にご利用者の一般就労に向けた知識や能力の向上を意識した支援や見守りを行いました。

令和2年3月から、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、さいたま市の指導で休業となりました。

## (11) ゆずり葉 パン工房

大型のパン製造機、発酵室、焼成機を備え、大量生産を実施しました。ハサップ手法を取り入れた衛生管理の徹底を図り、異物の混入なく安定した品質のパンを毎日製造しました。稼働開始初期に機械汚れによる異物混入がありましたが、その後は異物の混入なく、製造を継続することができています。機械操作や作業手順等、ご利用者も徐々に作業に慣れ、安定して業務に従事することができました。

## (12) ゆずり葉 調理

法人全体の給食センター機能と同時に、弁当製造などの営利活動も行い、多角的な運営の中核として活動しています。

### ① 食材を扱うことから、衛生管理を厳重に実施しました。

清潔な服装を心掛ける、適正な時間に調理を開始する、調理器具・食器を洗浄して完全に乾燥させる、定期的に清掃する、厨房内において汚染・非汚染の区分けを行う（作業場所ごとに台ふきんの色分け、汚染物を非汚染区域に持ち込まない。）ことを実践しました。

### ② HACCP（ハサップ）の研修会に参加しました。

- ③ 大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った記録簿、手洗いチェック表を作成しました。生野菜・生果物を提供する場合には、次亜塩素酸の希釈液で洗浄・消毒を行いました。
- ④ 日替わり弁当の製造・販売を実施しました。

### (13) ゆずり葉 クリーニング

クリーニング作業は、当初予定していたホテル等からの受注が順調でなかったことにより、暫定的にクリーニング作業の訓練として、ご利用者の衣類を洗濯・乾燥・仕分け・たたみ・運搬・納品と言う形で開始しました。

作業工程が多様であること、またそれぞれの作業がわかりやすいことにより、ご利用者の活動参加意欲も高く、順調に訓練が進み、受注が増加しても対応できる能力が高まってきています。

### (14) ゆずり葉 リサイクル

古紙リサイクル作業は、給食で提供された牛乳の空きパックを紙パルプにする作業を行っていましたが、協力企業による大量の酒パックが確保できたことによって、原材料加工が必要となり、そちらに作業比重を移しました。しかし、製紙機械の調整がうまくいかず、手漉きでの製紙作業となっているために生産量は上がっていません。

当初は、リサイクル材として、ペットボトルなどの廃プラスチックを破砕してチップする、熔融・再成型してペレットにするなどの作業も検討されましたが、今年度の導入までには至りませんでした。

## 4. 生活支援

### (1) 日常生活支援

個別支援計画に基づいた支援を実施し、モニタリングを行いました。

ご利用者の日常生活の様子は、職員により記録され、そのデータを基に個別支援計画の作成・見直しを行いました。食事支援、排泄支援、入浴支援、着替え支援、整容・洗面といったご利用者自身の身の回りの支援だけでなく、居室や生活環境等を整備する支援（リネン交換は週1回実施。失禁時などにはその都度行う。）も随時行いました。

ご利用者主体のライフスタイルを確立し、社会的自立を促進するための生活支援を実施しました。具体的な方法は、下記のとおりです。

- ① 居室の清掃、整理・整頓を支援しました。
- ② 個別支援計画を基本に、日常活動全般の見守りと声掛けを実施しました。
- ③ 話しやすい環境を作ることを大切に考え、ご利用者の声を傾聴しました。
- ④ 見守りと声掛けの方法について、職員同士で検討し、統一性を持って行いました。

- ⑤ 発語が困難なご利用者に対しては、ご利用者の表情や態度、行動からくみ取るように努めました。
- ⑥ ご利用者個々の特性に合わせた支援を行いました。
- ⑦ 休日等の余暇時間には、杉の子マートでの買物や多目的ホールでのカラオケを実施しました。
- ⑧ ご利用者に関わる情報を職員間で共有し、それぞれのご利用者の特性を理解した上で支援にあたりました。
- ⑨ 送迎サービス時には、時間に余裕を持たせ、無事故・無違反の安全運転を心掛けました。
- ⑩ ご利用者の「希望」や「予測できる必要なこと」に応えるために、支援方法の検討や情報共有と提供を行いました。
- ⑪ 生活の場面を通してご利用者の自立支援を行いました。
- ⑫ 支援者としてご利用者の抱える課題や問題行動だけに目を向けるのではなく、ご利用者の立場になった心理的・精神的ケアを行いました。

## (2) 外出支援

社会的自立と地域生活の充実を図るためには、自由かつ安全に移動が可能であること、金銭の使用ができること、金銭感覚と物の価値の認識が高まること、自分で選択・決定することなどが必要であることから外出プログラムを実施しました。

## (3) アート活動

趣味的な活動としてではなく、生産に結びつくアート活動の検討と実践を行っています。ご利用者のアイデアやデザインを職員がプロデュースすることで、製品のパッケージや日用品、衣類、エコバック等の製品へと結びつける活動を独自に実施しました。この活動は、女子美術大学とのコラボレーション製品にもなっています。

また、本企画は、「美サイクルプロジェクト」として大学と民間販売会社、そして当法人のアート活動による共同事業で、さまざまなバックなどが製作され、試験販売が行われました。

## (4) トレーニング

トータル・バランス・コンディショニングの講師を招へいし、ご利用者の健康増進活動として、毎月2回開催しました。リズムやボール等を用いて、小集団での運動機会を提供することにより、活動量の充実を図りました。また、個別に運動指導を実施することにより、生活の質の向上を図りました。

## (5) その他

季節の歌、行事で発表するための歌や合奏のほか、ご利用者からのリクエストに応じて、音楽を通した楽しい時間を過ごせるように取り組みました。

## 5. 行事

各種の行事を下記のとおり、実施しました。

行事名	内容
埼玉福祉事業協会 フェスティバル	<p>時期：4月29日</p> <p>場所：埼玉福祉事業協会 大駐車場</p> <p>内容：お世話になっている方々、法人ご利用者および他施設の方や近隣の方々等、さまざまな方に楽しく過ごしていただける場を提供し、ご利用者とそのご家族と親睦を深めました。ステージプログラムのほか、飲食屋台など多数の出店をしました。</p>
親睦旅行	<p>時期および場所：</p> <p>6月16日から18日（大阪方面）実施</p> <p>7月1日から2日（福島方面）実施</p> <p>7月8日から9日（福島方面）実施</p> <p>9月9日から10日（伊豆方面）実施</p> <p>内容：公共施設や交通機関の利用を体験し、自立に向けて社会性を身に付けてもらうとともに、旅の楽しさを実感していただきました。事前アンケートを行い、ご利用者が行きたい場所を考慮して1泊と2泊コースに分け、ご利用者自身に希望する旅行を選択してもらい、参加していただきました。</p>
七夕会	<p>時期：7月7日</p> <p>場所：埼玉福祉事業協会各施設 食堂</p> <p>内容：五節句のひとつで、日本古来の伝統行事を祝って、思いを込めて短冊を作ったり、七夕にまつわるDVDを上映したりしました。</p>
	<p>8月6日・7日 地域交流として、日進七夕祭りに参加しました。</p>
大運動会	<p>時期：10月7日</p> <p>場所：日本大学法学部大宮校舎 グラウンド</p> <p>内容：体力の向上を目的とし、障害の有無を超えて参加される方々との交流を深め、また社会性を身に付けるイベントとして行いました。</p>
西区ふれあい祭り	<p>時期：11月9日</p> <p>場所：三橋総合公園 多目的広場</p> <p>内容：地域の祭りに参加しました。法人からも出店し、「あかしの森パン」「焼き菓子」の授産製品や「今川焼き」等の販売を行いました。</p>
埼玉福祉事業協会 クリスマス会	<p>時期：12月17日</p> <p>場所：大宮ソニックシティ 小ホール</p> <p>内容：ご利用者とそのご家族、お世話になった方々とクリスマスにちなんだ演目を通して交流を深めました。</p>

餅つき大会	<p>時期：12月28日</p> <p>場所：障害者支援施設「ゆずり葉」 多目的ホール・中庭</p> <p>内容：ご利用者とそのご家族、職員一同で、日本の年中行事のひとつである餅つき大会を行い、地域の文化を伝承するとともに来年の幸せを願いました。</p>
新年会	<p>時期：1月5日（入所・通所合同事業）</p> <p>場所：障害者支援施設「ゆずり葉」 多目的ホール・中庭</p> <p>内容：新たな年を迎えられる喜びを感じ、健康で充実した一年を迎えられるよう、関係者が一堂に会して交流しました。</p>
節分会	<p>時期：2月3日</p> <p>場所：埼玉福祉事業協会各施設 食堂</p> <p>内容：五節句のひとつで、日本古来の伝統行事として、豆まきを行い、恵方巻きをいただきました。</p>

\* 令和2年2月下旬から、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、予定されていたイベントの中止がありました。

## 6. 給食

機器や器具を有効に活用し、より効率的に調理を行うことでおいしい給食を提供することに努めてきました。ご利用者の楽しみとなる給食に向けて、人材育成と管理にも努め、提供技術の向上を図りました。

栄養士は、原材料単価や発注・納品についても確認し、適正な価格で食事提供が行われるよう管理しました。また、できる限り食品添加物のない食材を選択し、食材の鮮度等の衛生管理に注意し、検食簿などを参考にしながら適切な指示を行いました。

### (1) 食事内容の向上

- ① ご利用者の嗜好に対応した給食にするため、嗜好調査を行いました。
- ② 検食簿を充実させ、幅広い視点で給食提供を検討しました
- ③ 食事に対するご利用者の希望が叶うようメニューを工夫しました。

### (2) 衛生管理

- ① 集団給食の衛生管理に務め、調理器具の消毒・室内清掃を毎日励行しました。
- ② 食中毒予防および給食事故防止のため、食品管理等を徹底しました。

### (3) 栄養所要量の確保

- ① 美味しい食事の提供を心掛けていますが、ご利用者の嗜好や給食の残滓を参考に、平均栄養量に見合った献立に見直し、提供しました。

### (4) 行事食等の特別メニューの提供

- ① クリスマス会等の行事においては、季節やご利用者の嗜好に合わせた食事を提供しました。具体的な行事食としては、赤飯、けんちん汁、揚げ物、お弁

当、3種類の餅、甘酒、お雑煮、フライドポテト、からあげ、恵方巻きなどを提供しました。

- ② ご利用者に季節感を感じてもらえるよう、旬の食材や当法人の農園で採れた作物を使い、食事を提供しました。

#### (5) 検食等

- ① 検食簿と残食簿の記入を徹底し、ご利用者に安心・安全な食事を提供するよう努めました。

#### (6) 特別食への対応

- ① 体調不良のご利用者については、看護師に相談した上でメニューや食形態を考慮して提供しました。
- ② ゆずり葉の事業開始により、障害の程度が重く、嚥下困難や食事への配慮が必要なご利用者が入所されたことから、従前から行っていた特別食への対応に加え、食事内容・食形態を検討し、個別対応を実施しました。

### 7. 健康管理

ご利用者は重度・最重度の知的および発達障害と生来の虚弱性に加え、てんかんや精神障害、その他の合併症を持っている方も多いため、定期健康診断をはじめ、日々の健康管理には細心の注意を払い、健康の維持・向上に努め、生活リズムを崩さないように支援しました。

疾病等への対応は、早期発見・早期治療を心掛け、ご利用者の心身状態の観察に細心の注意を払いました。また、近隣の医療機関や内科・精神科の嘱託医との連携を図り、必要時に受診対応を行いました。

また、ご利用者は自身の体調変化や不調を表現できない方が多く、主治医・看護師・職員によるチームケアを念頭に、適切なケアを実施しました。

職員および看護師は、感染症基礎研修や難病患者等支援研修を受講するなど、健康管理に対する知識・技術の向上に努めました。

#### (1) 日常的なケア内容

- ① 慢性疾患治療のための服薬支援や軟膏薬の塗布を行いました。
- ② 歯科往診を継続的に実施し、定期的な口腔衛生ケアに努めました。
- ③ 定期的にバイタルサイン（生命徴候）のチェック、表情や顔色などの確認を実施しました。
- ④ アトピー性皮膚炎やアレルギーなど、個別的な健康管理を行いました。
- ⑤ 高齢のご利用者には、加齢による身体機能の変化に配慮しました。
- ⑥ 排泄ケアや更衣・入浴ケア時には、手洗い・手指消毒を徹底しました。

#### (2) 定期健康診断等の実施

- ① 定期健康診断（診察・胸部 X 線・血液検査・検便・検尿等）
- ② 細菌検査
- ③ 内科検診



④ 精神科相談

⑤ 予防接種

### (3) 医療機関受診の実施

① 生活習慣病等の慢性疾患治療のため、ご利用者の状況に合わせ、定期的な通院・受診同行を実施しました。

② 怪我や体調不良等による臨時の通院や救急搬送に対応しました。

### (4) 医療機関との連携

① 嘱託医：大宮中央クリニック医師の回診

② 協力医療機関：大宮中央総合病院（休日夜間を含む、通院や入院の受け入れ）  
金子歯科診療所（往診）

白岡ファミリークリニック（皮膚科・月2回往診）

## 8. 防災および安全対策

防災と安全確保のために、消防計画に基づいた定期的な訓練を行いました。訓練時には、事故が発生しないように配慮して行いました。

また、事故防止の訓練および研修を通じて、危機意識や安全確認・点検意識を高めました。

### (1) 主な防災対策

① 避難訓練の実施

② 防災用非常食の備蓄 … 給食備蓄を含め、人数分の食料と飲料水の保管

③ 消防設備および避難口の点検 … 業者による定期点検以外に随時点検を実施

### (2) 車両に係る安全対策

① 安全運転を行うための研修を定期的実施しました。

② 運行記録表の管理、公用車運行に係る適正配備と管理等を行いました。

## 9. 人事・研修

施設内研修や外部機関による社会福祉法人会計研修、新任職員研修、他施設での実習等にも積極的に参加し、より専門的な知識の習得に努めました。

一般事務、庶務、労務管理、会計、新規事業に関わる業務を行いました。事務の業務改善に努め、円滑な事務手続きが行える仕組みを工夫していきました。新規事業の展開のため、福祉に限らず多方面からの人材確保を積極的に行ってきました。

特に、法人の理念と方針、職員倫理綱領等々が現場の職員に浸透し、ご利用者の人権や尊厳が生活の隅々まで守られているような施設を作っていくための人材育成に力を注いできました。

ゆずり葉開始時には、新人研修を法人として実施しました。

外部研修等には、状況や実情に合わせ、職員を派遣・参加させました。具体的には下記のとおりです。

- (1) 障害福祉従事者等養成研修
  - ・ サービス管理責任者（介護）（地域）
  - ・ 相談支援従事者初任者研修および現任研修
  - ・ 強度行動障害支援者養成研修（基礎）（実践）
  - ・ 同行援護従事者養成研修
- (2) 内部研修（講師招聘を含む）
  - ・ 初任者研修
  - ・ 個別支援計画作成に関わる研修
  - ・ 衛生管理研修
  - ・ 喀痰吸引等研修
  - ・ 防災研修クロスロード
- (3) 外部研修
  - ・ 新任職員研修
  - ・ 介護職員実務者研修（介護福祉士受験資格取得）
  - ・ 社会福祉施設長資格認定講習
  - ・ メンタルヘルス推進者養成研修
  - ・ 感染症基礎研修
  - ・ 彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員養成研修
  - ・ 福祉有償運送運転者 1 日講習会
  - ・ 福祉車両安全運転講習会
  - ・ 社会福祉法人監査研修
  - ・ 福祉サービス苦情対応研修
  - ・ 給食施設従事者等研修
- (4) 講師派遣
  - ・ 埼玉県発達障害福祉協会 … 実践交流会に発表者として派遣  
(※ 新型コロナウイルスの影響により中止)
- (5) 関係機関・その他
  - ・ 埼玉県発達障害福祉協会、障害者支援施設部会、地域生活支援部会、ご利用者支援部会等との連携・協力
  - ・ さいたま市障害者総合支援センター就労移行支援施設連絡会
  - ・ さいたま市西区相談支援事業所連絡会

## 10. 会議および委員会の実施

会議および委員会を下記のとおり、実施しました。

会議名	内容	出席者
職員会議	事業運営全体に関すること	全職員対象
運営会議	施設運営に係る検討	管理者・運営者
ケース検討会	ご利用者の生活支援に関すること	施設長・生活支援・医務
入退所判定会議	ご利用者の入退所に関すること	関係者
食事検討委員会	食事全般に関すること	施設長・栄養士・調理員・支援員
保健検討会	ご利用者の健康管理に関すること	看護師等
虐待防止委員会	ご利用者への虐待防止や検討	施設長・生活支援員等
苦情解決委員会	福祉サービスの利用に係るご利用者の権利を守り、サービス受給過程におけるさまざまな苦情解決および生活上の相談等に関すること	施設長・役職者等
衛生委員会	衛生に関する規程や計画の作成、衛生教育の実施計画の作成等に関すること	施設長・衛生管理者・管理者

## 11. 地域・ボランティア・研修の受け入れ

(1) 行事ボランティアの受け入れを行いました。

(2) 保育実習生や介護等の体験実習生の受け入れを行いました。

### ① 利用に関わる実習事例（50音順）

- ・ 大宮北特別支援学校（生活介護 7名・就労移行 1名）
- ・ 川越特別支援学校（生活介護 1名）
- ・ 川島ひばり特別支援学校（生活介護 2名）
- ・ 所沢おおぞら特別支援学校（生活介護 3名）
- ・ ひまわり特別支援学校（生活介護 5名）

### ② 大学・短期大学・専門学校等からの実習事例（50音順）

- ・ 浦和大学（3名）
- ・ 聖徳大学（3名）
- ・ 埼玉県立大学（3名）
- ・ 国際学院女子短期大学（5名）
- ・ 聖徳短期大学（4名）
- ・ 草苑保育専門学校（2名）

### ③ 介護体験のための実習

## 12. 送迎対応

(1) 当法人の事業所所在地は、交通公共機関の便があまり良くないことから、送迎対応を行いました。

- ① 大宮・北浦和方面便 / ② 浦和方面便 / ③ 柳瀬川・ふじみ野方面便
- ④ 東大宮方面便

(2) バス利用で通所しているご利用者、通勤している職員の福利厚生のため、二ツ宮便の送迎を行いました。

## 13. ご利用者家族等の関係者との相互協力

家族連絡会を年間5回以上開催し、ご利用者に関する報告、施設運営の報告を行い、意見交換をしました。また、行事等では相互協力を図りました。

\* 令和2年2月下旬から、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、予定されていたイベントの中止がありました。

さいたま市の施設も自粛要請により休業しました。(ふれあい館・花の丘食品館)

また、外出自粛の影響とみられる各販売所の売り上げ減、製造量の縮小や販売中止の日もありました。

## 利用者の状況

R2.3.31

### 杉の子学園 生活介護事業(定員:80名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	7
21～30歳	23
31～40歳	13
41～50歳	32
51～60歳	3
61～70歳	2
71歳～	1
平均年齢 36.8歳	81

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	38	久喜市	1
川越市	6	宮代町	1
川口市	5	八潮	1
朝霞市	4	草加市	2
上尾市	3	志木市	0
ふじみ野市	3	春日部市	2
板橋区	1	鴻巣市	1
和光市	1	三郷市	2
日高市	1	蓮田市	2
東松山市	0	鶴ヶ島市	2
越谷市	1	吉川市	1
富士見市	2	宮代町	0
杉戸町	1		
		合計	81

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	2
5	3
6	76
合計	81

### 杉の子学園 施設入所支援事業(定員:50名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	1
21～30歳	10
31～40歳	7
41～50歳	27
51～60歳	4
61～70歳	1
71歳～	0
平均年齢 40.9歳	50

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	18	宮代町	1
川越市	3	杉戸	2
川口市	6	草加市	2
朝霞市	4	志木市	0
上尾市	2	春日部市	1
越谷市	1	鴻巣市	0
和光市	1	三郷市	1
日高市	1	蓮田市	2
東松山市	0	吉川市	1
杉戸町	2	宮代町	2
富士見市	0	板橋区	0
		合計	50

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	50
合計	50

### 杉の子学園 短期入所事業(定員:7名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	5
21～30歳	7
31～40歳	2
41～50歳	1
51～60歳	0
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 25.3歳	15

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	7	富士見市	1
川越市	3	久喜市	1
朝霞市	1	蕨市	1
上尾市	1		
		合計	15

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	1
4	3
5	3
6	8
合計	15

## 利用者の状況

R2.3.31

### あかしあの森 就労移行支援事業(定員:6名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	3
21～30歳	0
31～40歳	0
41～50歳	0
51～60歳	0
61～70歳	0
平均年齢 20歳	3

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	2	川越市	1
		合計	3

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
区分なし	3
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
合計	3

### あかしあの森 就労継続支援A型事業(定員:10名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	0
31～40歳	2
41～50歳	2
51～60歳	1
61～70歳	0
平均年齢 42.8歳	5

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	3	川口市	0
北本市	0	寄居町	0
川越市	1	所沢市	1
久喜市	0		
		合計	5

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
区分なし	4
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	1
合計	5

### あかしあの森 就労継続支援B型事業(定員:34名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	1
21～30歳	7
31～40歳	4
41～50歳	3
51～60歳	1
61～70歳	0
71歳～	1
平均年齢 34.9歳	17

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	9	川口市	0
草加市	1	志木市	0
川越市	1	杉戸町	1
富士見市	3	蓮田市	1
伊奈町	1	上尾市	0
宮代町	0		
		合計	17

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
区分なし	10
1	0
2	0
3	0
4	2
5	0
6	5
合計	17

## 利用者の状況

R2.3.31

### あかしあの森 生活介護事業(定員:10名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	1
21～30歳	4
31～40歳	2
41～50歳	2
51～60歳	1
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 33.1歳	10

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	5	富士見市	1
川越市	1	久喜市	0
朝霞市	0	川口市	1
志木市	2		
		合計	10

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
	0
	0
	0
	3
	3
	4
合計	10

### あかしあの森 短期入所事業(定員:19名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	3
21～30歳	1
31～40歳	4
41～50歳	1
51～60歳	2
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 34.1歳	11

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	3	宮代町	0
川越市	1	北葛飾郡	0
川口市	0	草加市	1
朝霞市	1	志木市	0
上尾市	0	春日部市	1
越谷市	0	鴻巣市	0
和光市	0	三郷市	1
日高市	0	蓮田市	0
東松山市	0	吉川市	0
富士見市	1	板橋区	0
狭山市	1	小川町	1
		合計	11

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
	0
	0
	0
	1
	2
	8
合計	11

## 利用者の状況

R2.3.31

### プリムローズ 共同生活援助事業(定員:9名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	2
31～40歳	0
41～50歳	3
51～60歳	1
61～70歳	1
71歳～	2
平均年齢 44.8歳	9

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	6	蓮田市	1
富士見市	0	川越市	2
		合計	9

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	1
3	1
4	1
5	0
6	6
合計	9

### プリムローズ 短期入所事業(定員:4名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	1
21～30歳	1
31～40歳	1
41～50歳	1
51～60歳	0
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 30.5歳	4

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	2	和光市	1
富士見市	0	川越市	1
		合計	4

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	0
5	3
6	1
合計	4



## 利用者の状況

R2.3.31

### ゆずり葉 生活介護事業(定員:60名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	6
21～30歳	18
31～40歳	11
41～50歳	16
51～60歳	10
61～70歳	1
71歳～	0
平均年齢 20.8歳	62

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	53	朝霞市	3
東松山市	1	狭山市	1
小川町	1	ふじみ野市	1
鴻巣市	1	和光市	1
		合計	62

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	1
4	8
5	5
6	48
合計	62

### ゆずり葉 施設入所支援事業(定員:50名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	14
31～40歳	10
41～50歳	16
51～60歳	7
61～70歳	2
71歳～	1
平均年齢 40.4歳	50

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	42	朝霞市	1
東松山市	1	富士見市	1
川越市	1	宮代町	1
鴻巣市	2	板橋区	1
		合計	50

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	50
合計	50

### ゆずり葉 短期入所事業(定員:10名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	3
21～30歳	1
31～40歳	0
41～50歳	2
51～60歳	0
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 37.6歳	6

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	3	伊奈町	1
新座市	1	千葉市	1
		合計	6

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	2
4	0
5	3
6	1
合計	6

## 利用者の状況

R2.3.31

### ゆずり葉 宿泊型自立訓練事業(定員:20名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	1
21～30歳	4
31～40歳	8
41～50歳	3
51～60歳	1
61～70歳	0
平均年齢	34.6歳
	17

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	16	鴻巣市	1
		合計	17

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
区分なし	10
	1
	0
	2
	0
	3
	1
	4
	3
	5
	1
	6
	2
合計	17

### ゆずり葉 就労継続支援A型事業(定員:10名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	0
31～40歳	1
41～50歳	2
51～60歳	1
61～70歳	1
平均年齢	46.8歳
	5

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	2	上尾市	1
久喜市	1	川口市	1
		合計	5

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
区分なし	5
	1
	0
	2
	0
	3
	0
	4
	0
	5
	0
	6
	0
合計	5

### ゆずり葉 就労継続支援B型事業(定員:30名)

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	4
31～40歳	4
41～50歳	3
51～60歳	3
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢	37.6歳
	14

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	12	宮代町	1
鴻巣市	1		
		合計	14

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
区分なし	10
	1
	0
	2
	0
	3
	1
	4
	0
	5
	1
	6
	2
合計	14

短期入所事業利用実績状況(定員:計40名)

R2.3.31

月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数																	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性																
H31年 4月	30	8	1	R1年 5月	31	7	1	6月	30	13	1																
	11~29	1			11~30				11~29	1	1																
	10				10				10																		
	9				9				9																		
	8				8				8																		
	7	1			7				7																		
	6				6	1			6	2	1																
	5	1			5				5	1																	
	4	1			4				4	2																	
	3	1			3	4	4		3	3	3																
2			2	4	2	2	8	2																			
1			1			1																					
述べ利用日数/月		259	30	述べ利用日数/月		243	47	述べ利用日数/月		440	49																
利用者数/月		13	1	利用者数/月		16	7	利用者数/月		30	8																
平均利用数/日		9.6		平均利用数/日		9.4		平均利用数/日		16.3																	
月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数																	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性																
7月	31	14	3	8月	31	14	6	9月	30	13	6																
	11~30				11~30				11~29	3	1																
	10	1			10	1			10																		
	9				9				9																		
	8				8	1	1		8	2																	
	7				7				7																		
	6	2			6	1			6																		
	5				5	1	2		5	1																	
	4	1			4	1	1		4	1	1																
	3	5	3		3	7			3	1	2																
2	3	2	2	7	3	2	8	5																			
1			1			1																					
述べ利用日数/月		481	106	述べ利用日数/月		502	214	述べ利用日数/月		434	200																
利用者数/月		26	8	利用者数/月		33	13	利用者数/月		29	15																
平均利用数/日		18.9		平均利用数/日		23.1		平均利用数/日		21.1																	
月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数																	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性																
10月	31	12	7	11月	30	15	7	12月	31	13	7																
	11~30	2	1		11~29		1		11~30	3	1																
	10				10				10	1																	
	9	1			9	1			9																		
	8				8				8	1	1																
	7	1			7				7	2																	
	6	1			6				6	1																	
	5				5	5			5		1																
	4	1	1		4	2	1		4	2																	
	3	1	2		3	1	2		3	7	4																
2	6	2	2	6	4	2	6	3																			
1			1	1		1																					
述べ利用日数/月		413	231	述べ利用日数/月		508	228	述べ利用日数/月		482	248																
利用者数/月		25	13	利用者数/月		31	15	利用者数/月		36	17																
平均利用数/日		20.8		平均利用数/日		24.5		平均利用数/日		23.5																	
月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数																	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性																
R2年 1月	31	12	8	2月	29	14	10	3月	31	11	10																
	11~30		1		11~28				11~30		1																
	10	1			10				10	1																	
	9	1			9	1	1		9																		
	8				8				8																		
	7				7		2		7		1																
	6	3	1		6	1			6	3	1																
	5				5	2			5	1																	
	4		1		4	2			4	1	1																
	3	3	2		3	5	3		3	5	3																
2	6	3	2	15	5	2	7	3																			
1	1		1			1	1																				
述べ利用日数/月		431	270	述べ利用日数/月		484	332	述べ利用日数/月		408	342																
利用者数/月		27	16	利用者数/月		40	21	利用者数/月		30	20																
平均利用数/日		22.6		平均利用数/日		28.1		平均利用数/日		24.2																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年間</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>述べ利用日数</td> <td>5,085</td> <td>2,297</td> <td>7,382</td> </tr> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>336</td> <td>154</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>平均利用者数</td> <td colspan="3">20.2</td> </tr> </tbody> </table>												年間	男性	女性	合計	述べ利用日数	5,085	2,297	7,382	年間利用者数	336	154	490	平均利用者数	20.2		
年間	男性	女性	合計																								
述べ利用日数	5,085	2,297	7,382																								
年間利用者数	336	154	490																								
平均利用者数	20.2																										